

L A S - 1 5 7 ボールバルブ分解・再組立要領書

1. はじめに

この要領書では、シートを交換するために必要なバルブの分解から再組立に関する事項を記載しております。なお、再組立品につきましては、弊社の保証範囲外となりますので、予め御了承下さい。

バルブを安全かつ正しく再組立して頂くために、作業前にこの要領書をお読みになり、よく御理解された上で作業を行って下さい。

2. 作業にあたり

作業を行う際は、次の内容を御守り下さい。

- バルブが閉状態の場合、弁箱内に流体が残っている可能性がありますので、一度バルブを開閉させて流体を排出して下さい。
- 作業の際は、手や指を挟まないようにし、再使用する部品は損傷等の無いよう取扱いに注意して下さい。
- 作業は粉塵の少ない場所で行って下さい。
- 保護めがね、手袋、安全靴等の保護具を身に付けて作業を実施して下さい。

3. 準備するもの

作業前に次のものが準備されているか確認した後に作業を行って下さい。

- 部品一式
- スパナ
- ウエス（毛羽立ちのないもの）
- 潤滑剤（東レ・ダウコーニング(株)製 SH200オイル 1,000CS相当）
- 脱脂剤（洗浄液）
- 手袋（皮製）・保護めがね等の保護具

4. 分解手順

4.1 六角ボルト⑫を4本共取り外して下さい。

4.2 エンドキャップ②を取り外して下さい。バルブが閉状態の場合はボール③の脱落に注意して下さい。

4.3 ボディ①とエンドキャップ②からボール③、シート④、Oリング⑩、ガスケット⑪を取り外して下さい。

※グランドナット部には緩み防止を目的に接着剤を塗布してあります。そのため、ステム部一式の取り外しはできない構造となっております。

5. 組立手順

5.1 組立前に部品一式について部品点数があっているか、及び変形、傷等の異常が無いことを確認して下さい。ボール③表面に傷等が確認される場合漏れの要因になる可能性があるため、特に注意して確認して下さい。部品の状態に応じて新品と交換して下さい。

5.2 組立前に再使用部品を洗浄し、異物等の汚れを除去して下さい。洗浄にウエスを用いる場合は、毛羽立ちのないきれいなウエスを用いて下さい。

5.3 ボール③、シート④、Oリング⑩、ガスケット⑪に適切な潤滑剤を塗布して下さい。

5.4 ボディ①にOリング⑩、シート④を取り付けて下さい。

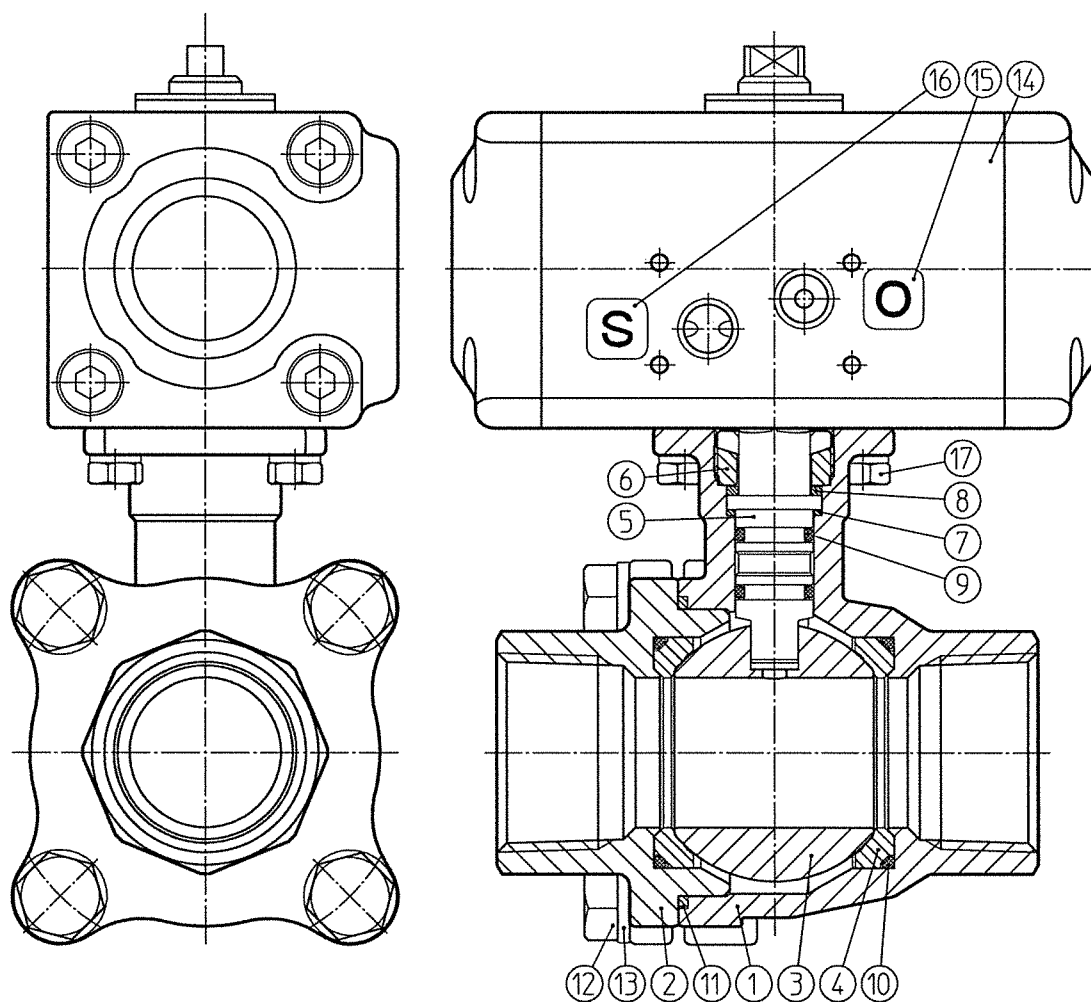
5.5 バルブを閉状態にし、ボール③を取り付けて下さい。

5.6 エンドキャップ②にOリング⑩、シート④、ガスケット⑪を取り付けて下さい。

5.7 ボディ①にエンドキャップ②を取り付け、スプリングワッシャー⑬及び六角ボルト⑭4セットをボディに取り付けて下さい。六角ボルトを締め込む際は、たすき掛けの要領でねじがかじらないよう徐々に締め付けて下さい。なお、六角ボルト⑭を締め付ける際は必ずバルブを閉にした状態で行って下さい。

5.8 配管にバルブを取り付ける前にアクチュエータを作動させた時にバルブが作動するかどうかの確認と、バルブの気密試験を実施するようにして下さい。

6. 構造図



17	スプリングワッシャー+ボルト	SUS304N1+SUSXM7	4
16	ラベル	テロンフィルム(ラミネート加工)	1
15	ラベル	テロンフィルム(ラミネート加工)	1
14	アクチュエータ	A6063 T5他	1
13	スプリングワッシャー	SUS304	4
12	六角ボルト	SUS304J3	4
11	ガスケット	PTFE	1
10	Oリング	FPM(耐スチ-ム用・MS-MK217)	2
9	Oリング	FPM(耐スチ-ム用・MS-MK217)	2
8	パッキン	PTFE(グラスファイバ20%入り)	1
7	パッキン	PTFE	1
6	グランドナット	SUS304	1
5	ステム	SUS304	1
4	シート	PTFE(カーボンセイン15%入り)	2
3	ボール	SUS316	1
2	エンドキャップ	SCS13	1
1	ボディ	SCS13	1
符号	部品名	材質	個数